

▽同志社大学グローバル地域文化学部 金 鍾徳 (キム・ジョンドク) 准教授

中高生スキット部門 講評

こんにちは。話してみよう韓国語 2022 中高生スキット部門講評担当の金鍾徳です。

中高生スキット部門についてのコメントをさせていただきます。去年と同様に、録画して送付しなければならないという手間がかかったにも関わらず、去年の 13 組よりも 5 組も多い 18 組が参加してくれました。それだけでも大変嬉しく、驚きましたが、特に島根県の高校からたくさん参加していただけたことが、驚くとともに、嬉しい出来事でした。今回、参加して演技をしてくださった高校生の皆さんのスキットは、どれも原稿を見ずに動画だけを見ても、その内容が十分に理解できました。韓国語の基本的な発音と文法をしっかり理解して、皆さんが一生懸命練習した結果だと思えます。

去年の大会では、話すスピードが速すぎるというコメントをしました。しかし今回は、話すのが速すぎるチームは一つもありませんでした。時間に合わせて原稿を作り、またその時間に合わせて話すスピードまで練習を一生懸命されたおかげではないかと思えます。特に、スキットを進める過程で、言葉に詰まらないで自然に対話を繋いでいく様子を見ると、練習をとて一生懸命されたということが分かりました。

今回参加した学生の方々の韓国語が、100%自然な韓国語の発音・イントネーションであったと言うことはできません。しかし、高校生というのはまだまだ若いので、今回の大会に備えて準備したように練習をずっと重ねていけば、何年か後には自然な韓国語を十分に駆使することができるようになります。一日に 30 分ずつだけでもいいので、毎日怠らず、練習して下さることを皆さんにお願いして、私のコメントを終わりたいと思えます。

ありがとうございました。

▽鳥取県交流推進課 慎 慧蘭 (シン・ヘラン) 国際交流員

一般スキット部門 講評

コロナの影響により、昨年度に続き、今年度もオンライン開催となりましたこと、大変残念に思っています。中でも一番残念なのは、今年も一般スキット部門の参加者が一組しかなかったことではないかと思えます。来年こそ、より多くの方々の発表が聞けること、期待しております。

今回の発表でも「깜깜해지 (真っ暗) 는」「가뜩이나 (ただでさえ)」「꼴꼴한데 (良くないのに)」のような激音や濃音、また、「카페 (カフェ)」「케이크 (ケーキ)」「액세서리 (アクセサリ)」のような外来語など、難しい発音が多かったと思えます。特に、外来語の場合、似ているからこそ気を付けないと日本語のまま発音してしまうことがありますので、十分気をつけていただきたいと思えます。また、難しい単語をどれだけ正確に発音しても全体のイントネーションが不自然だと、相手に違和感を感じさせることになりかねないと思えますので、自然な韓国語のイントネーションになるよう、日本語で話す時に比べ、より落ち着いた一定のトーンで話すよう、日ごろから気を付けていただければと思えます。

今回のスキットでは、試験が終わった後の過ごし方とのことで、日本でもソウルの観光地として有名な仁寺洞でハングルのアクセサリーブづくりを体験する内容でしたが、日韓両国においても観光客が徐々に増えてきている今の状況に相應しい、タイムリーな内容だったと思えます。

言うまでもないことですが、外国語を学習する上で一番重要なのは現地に出向いて、聞いたり話したりと、生の言葉に触れてみることだと思います。今回は、島根県からもたくさんの方が参加してくださいましたが、島根からも近い、鳥取県の米子鬼太郎空港と韓国の仁川空港を結ぶ路線の再開の動きもありますので、再開の際には、皆さん、ぜひ現地に行って今まで培ってきた実力を試してみてもらえたらと思います。

▽姫路獨協大学人間社会学群 中村麻結 (なかむら まゆ) 教授

スピーチ部門 講評

今年も熱意あふれる発表を楽しく聞かせていただきました。原稿を何度も吟味して臨まれたことと思います。内容もよく練られていて、レベルの高い構成内容でした。一生懸命原稿を作成する過程で、たくさん得るものがあったことと思います。その成長を、おめでとうございますと申し上げたいと思います。

一言アドバイスを申し上げると、原稿が出来上がった後の発表の準備にかかる時間を、原稿作成と同じくらいたくさん取ると、より多くのものが得られると思います。発表内容をしっかり頭に入れて、丁寧な発音とイントネーション、適切なスピードと声量で、「聞いている人に伝える」ということにもっと時間を割くとよいと思います。ネイティブの方に原稿を録音してもらって、シャドウイングなどをするのも一つの方法です。

今後は、今回得たものを実際のコミュニケーションに使っていくことが出来るといいですね。

全体 講評

中高生スキット部門もスピーチ部門もたくさん応募して下さってありがとうございます。一般スキット部門は、ペア探しや練習時間の捻出、練習場所や指導者の確保など、学生さんとは違った困難があるにも関わらず応募して下さい、本当にありがとうございます。

普段の学習の中で、指導者や一緒に学ぶお友達相手でもいいので、学んだことを実際にアウトプットしていく、韓国語を発話するという経験を、今後もどんどん積んでいかれることをお勧めします。あるいは、街で韓国からの観光客の韓国語を耳にしたとき、「한국에서 오셨어요? 재미있게 놀다 가세요~」(韓国から来られたんですか?楽しんでいってくださいね)なんて声をかけてみたら、意外な友達ができるかもしれません。

皆さんの韓国語学習ライフが今後も充実したものであることを願ってやみません。